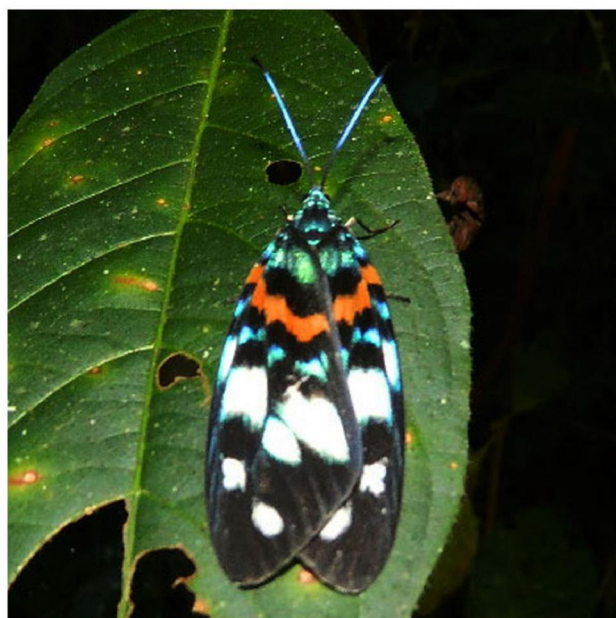
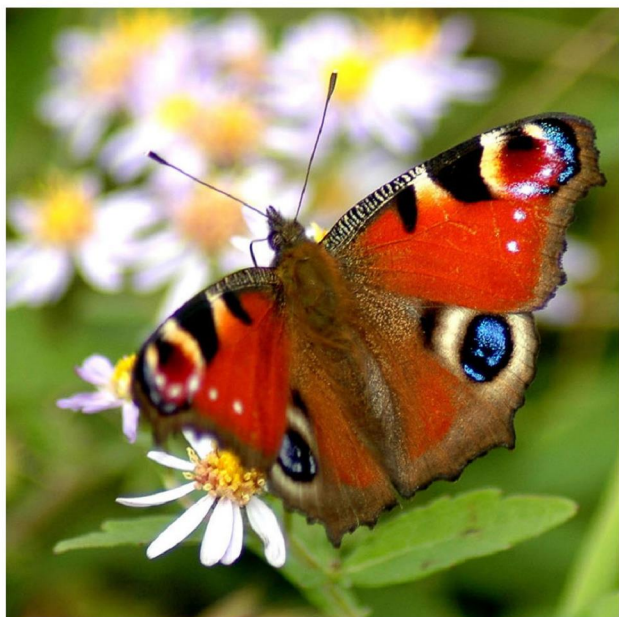


美しい昆虫の世界を

ゆっくりお楽しみ下さい



藤井 醇

まえがき

いよいよ遺稿集も Part III ということになりました。

カメラ人生でしたから、カメラマンらしく、真面目に本業の昆虫だけの作品集を作るべきと考え、編んでみました。

信州へ移り住んでから既に18年目になります。

ここに収めた作品の全ては。その17年間に撮った作品ですから、殆どはデジカメの作品になります。

昆虫の生態写真は、ある程度の説明が必要で、冊子にしても作品展でも説明を添えましたが、今回は思い切って説明を殆ど省きました。

そして、説明不要の、昆虫界の綺麗どころに総出演してもらい、美しさを改めてアピールし皆様と昆虫の距離を縮めて頂こうというのが、ひとつの大きな狙いです。

昆虫の種類は皆さんが想像しておられる数をはるかに越えると思います。専門家の間でもその数はまちまちで地球上で100万種～300万種といった幅があります。つまり推定でしかないのです。

この種類数からいうと私が持っている数などは、ほんの一部の一部に過ぎませんが、それでもとても載せきれるものではありません。

かなり厳しく選んでも、一部が選ばれる程度です。それでも小さくて、普段皆さんの目から、こぼれてしまったような小さなものも勿論、登場してもらおうようピックアップしたつもりです。

構成は大まかに、チョウ、甲虫、カメムシ、といった具合に分類し、蝶のように登場数が多いものは更に、アゲハ・タテハ・シジミ・というように再分類し、数ページずつにまとめてあります。

殆ど説明文はなくし、種名と撮影地のみを記しました

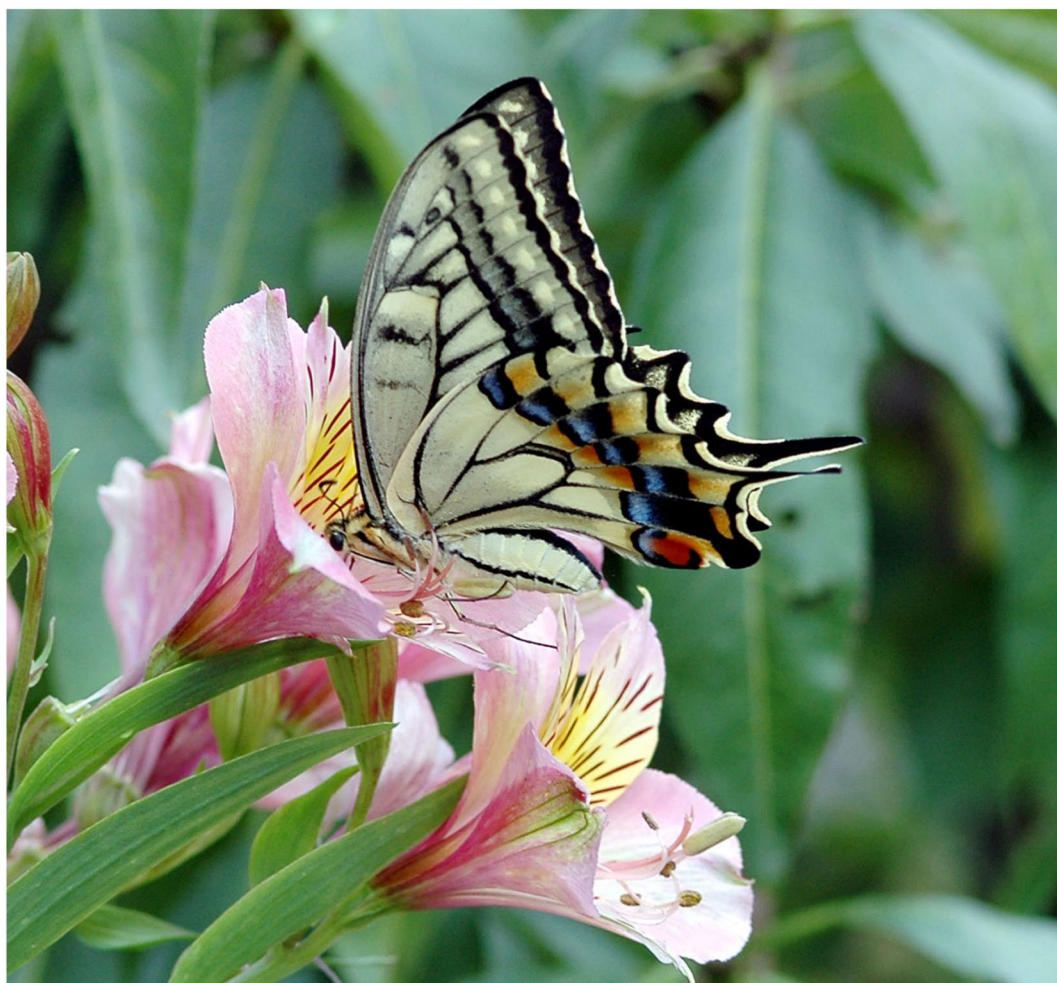
ひたすら虫たちの美しさをご鑑賞下さい。

アゲハの仲間

日本に蝶はおよそ300余種、この数は小さな国にしては大変多い。
そして殆どの蝶は美しく、大型の種から小型の種までバラエティー
に富み多くの人に好まれ、コレクターも多い。

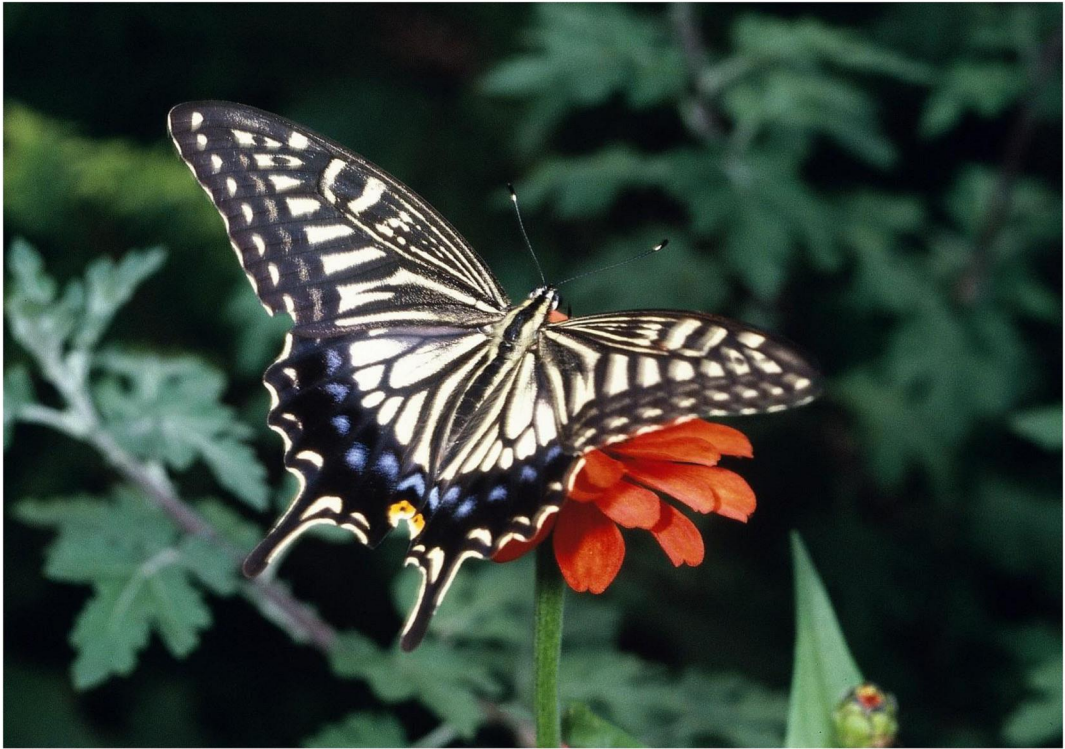
約300種の蝶のうちアゲハは50種ほどいます。

しかし、最近はかなり個体数が減ってしまい、昔たくさん見かけた
ジャコウアゲハ、オナガアゲハは大変少なく、カラスアゲハ、ミヤ
マカラスアゲハなども少なくなってきました。残念な事です。



キアゲハ

富士見高原



ナミアゲハ

長野市



ウスバシロチョウ (ウスバアゲハ)

冠着山麓



ミヤマカラスアゲハ

戸隠



オナガアゲハ

聖高原



ベニモンアゲハ

沖縄 八重山



カラスアゲハ吸水

千曲市倉科

シジミチョウの仲間

シジミチョウのグループは50種ほどの大きなグループで、殆どの種が小さいが色彩は美しく、花の上での動きはバレリーナを見るようで、見飽きることがない。

翅を立てて止まる事が多く翅表を見せる事が少ないが、裏の方が柄、紋様が繊細で美しい。



オオルリシジミ

東御市



ツバメシジミ

千曲市羽尾



ムラサキシジミ

千曲市倉科



トラフシジミ

長野県北部



ミヤマシジミ

信州新町



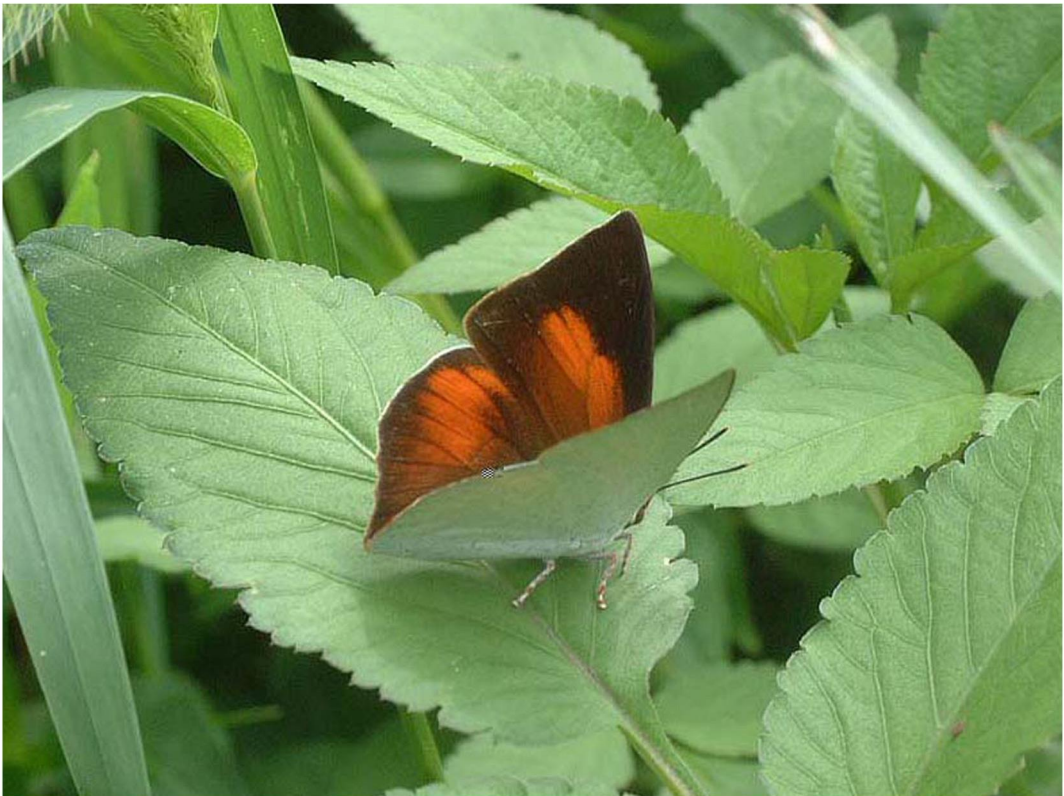
アマミウラナミシジミ

竹富島



ウラナミアカシジミ

千曲市 倉科



ウラギンシジミ

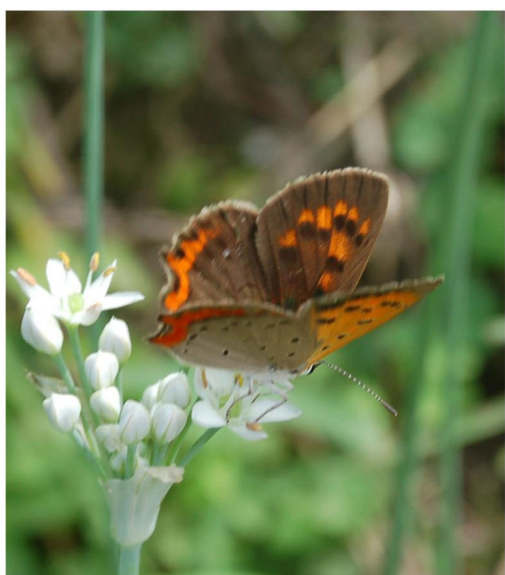
碓氷峠



春から秋まで花上で
華麗なバレーを見せる
ベニシジミ



ベニシジミ
コレクション



シロチョウの仲間

モンシロチョウに代表される仲間で文字通り白い蝶が多く色彩的にさみしいが、冴えた黄色で羽先がシャープに尖ったヤマキチョウ、羽の先だけ目の覚めるような紅色のツマベニチョウ（次頁）は、アゲハチョウ並みのお大きさに美しい。下のヒメシロチョウは局部的な発生で個体数も少なく、地域によっては絶滅、或いは絶滅危惧種になっている。



スジボソヤマキチョウ

信州新町



ヒメシロチョウ

信州飯綱山麓



ツマベニチョウ

沖縄今帰仁



モンキチョウ

信州新町



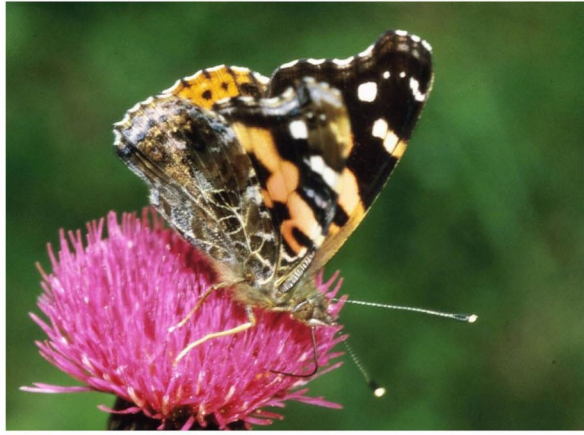
スジグロチョウ

千曲市里山



キチョウ

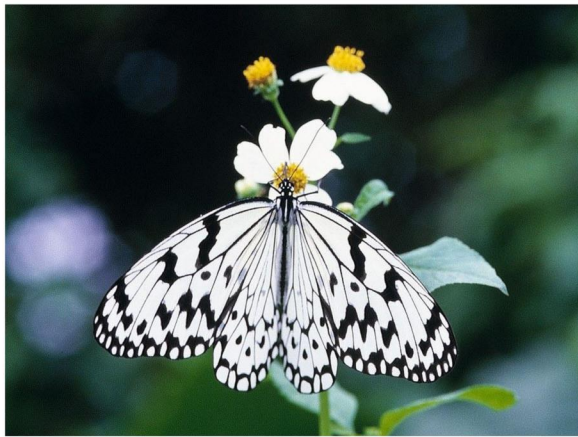
千曲市里山



アカタテハ

タテハチョウの仲間、他

タテハ・ヒョウモン・ジャノメチョウ・マダラチョウまで、ひとまとめにして、華やかに登場してもらいました。



オオゴマダラ



ミドリヒョウモン



クロヒカゲ



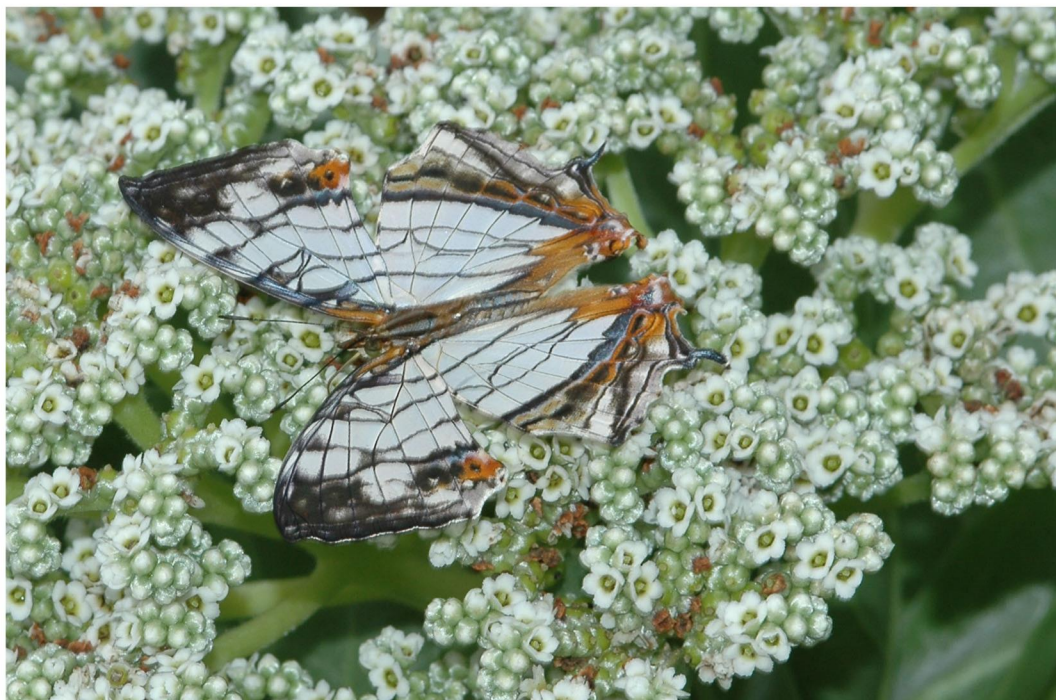
クジャクチョウ

長野県富士見高原



キタテハ

千曲市大田原



イシガキチョウ

沖縄八重山



アオタテハモドキ

沖縄八重山



エルタテハ

信州山田温泉



スミナガシ

千曲市倉科

タテハモドキ

八重山



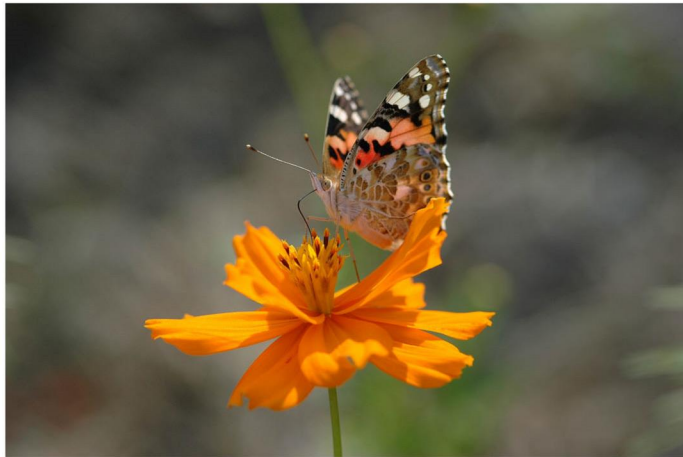
サカハチチヨウ

千曲市倉科



ヒメアカタテハ

川中島



シタテハ

信州新町





オオムラサキ

信州新町



ゴマダラチョウ産卵

信州新町



ツマグロヒョウモン羽化（オス）

長野市川中島



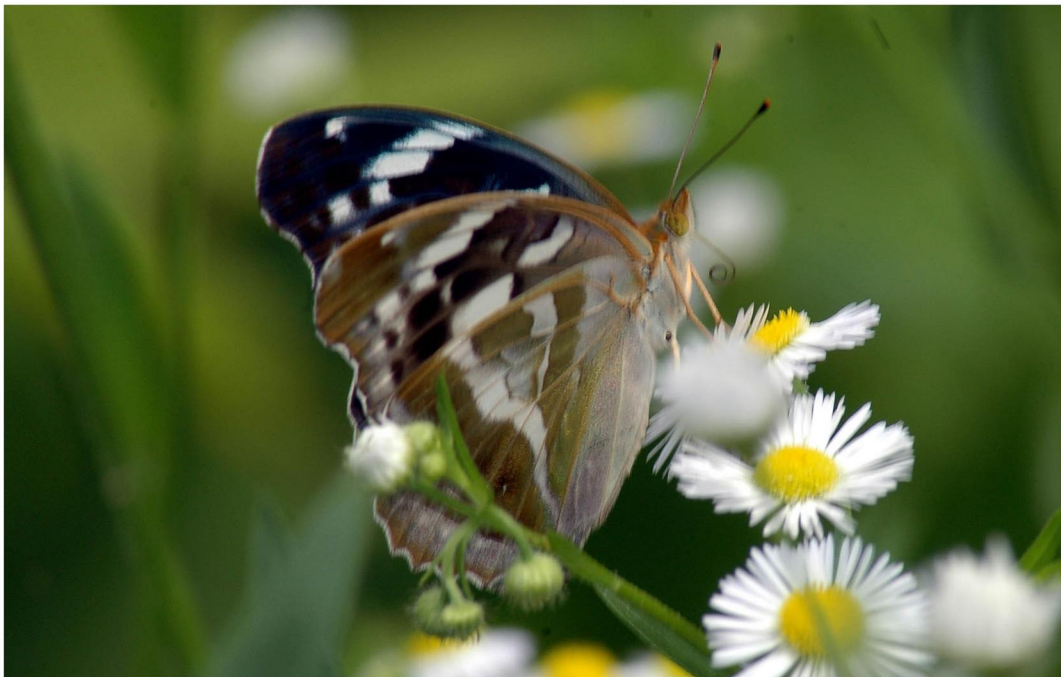
花上のツマグロヒョウモン（メス）

東京多摩



ミドリヒョウモン（裏）

長野県富士見高原



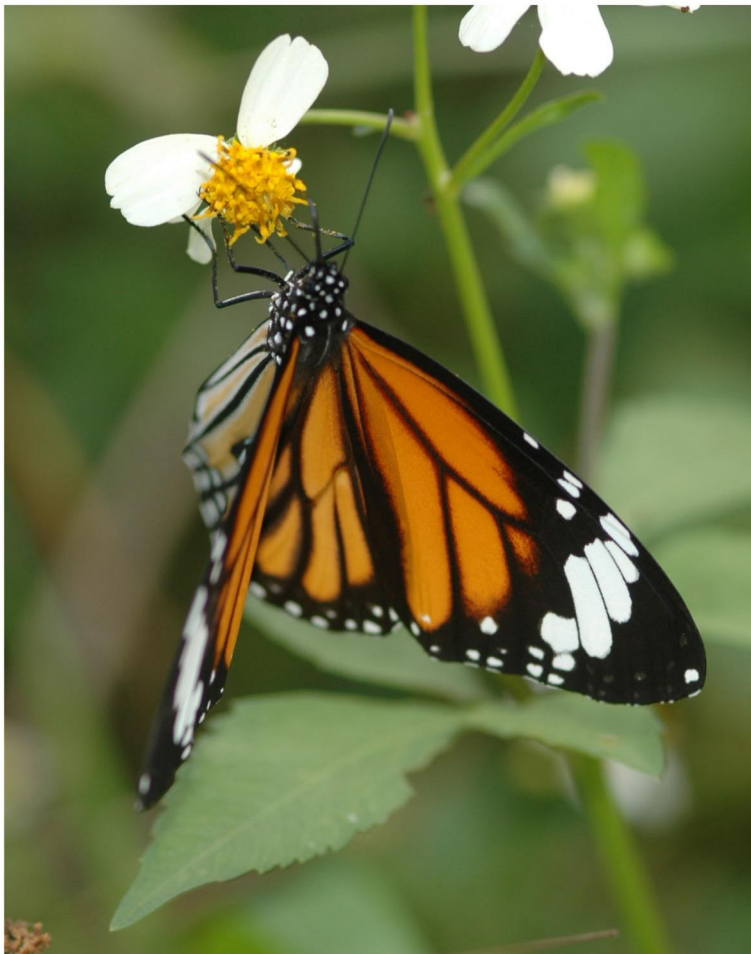
メスグロヒョウモン

千曲市 森



オオゴマダラ

沖縄今帰仁



スジグロカバマダラ

西表島



アサギマダラ

長野県富士見高原



リュウキュウアサギマダラ

西表島



ヒメウラナミジャノメ

冠着山麓



ヒメキマダラヒカゲ

富士見高原



ヒメジャノメ

冠着山麓

蛾の仲間

日本の蛾と蝶を包括する「鱗翅目」は全てで5000余種であるが、そのうち、蝶は僅か300余種でしかないから、昼間活動する蛾の、一グループと言い代えても間違いではない。つまり90%以上が『蛾』ということになる。

殆どの大型の蛾は、チョウより胴体が太く、鱗粉も多く、夜灯りに集まり鱗粉を振りまくので嫌われるようだが中には、オオミズアオのような美しい色彩の蛾もいる。（下の写真）

中に数種鱗分に毒を持つ種がいるために恐れられているが、皮膚に触れれば痒くなる程度であって、恐れるほどの毒ではない。

好き嫌いは別として、5000種の中には、蝶に優るとも劣らぬ美しい種も少なからずいます。私は『蛾』の画像で美しいものは、それほど撮ってはいません。

そんな中から、一部を小さく扱いましたので、嫌わずにご覧下さい。

勿論、次の二頁飛ばして頂いてもけっこうです。



オオミズアオ

長野市川中島



上から

トラガ
コスカシバ
イカリモンガ
クロミスジシロエダシヤク





サツマニシキ

台中



ルリチラシの一種

台中

トンボの仲間

日本には200種類ものトンボが生息している。

こんな小さな国土で200種ものトンボがいるということは稀有な事である。それは、とりもなおさず、昔から『水』が豊かな国であったということである。そして国土は寒冷地から亜熱帯まで長く連なっていて、気候が変化に富んでいる事にも起因する。



飛翔するサナエトンボ

聖高原



コシアキトンボ

長野市川中島



ショウジョウトンボ

長野市川中島



アキアカネ

冠着山麓



ネキトンボ

冠着山麓



オニヤンマ

北長野替佐



ギンヤンマ産卵

千曲市



コナカハグロトンボ

西表島



ハグロトンボ

川中島今井



ミヤマカワトンボ

信州飯綱山麓



カワトンボ

千曲市羽尾

甲虫の仲間

甲虫は正式には鞘翅目のことで、5000種を超える大変大きなグループで、更に細かく分類されている。しかし、なじみの無い名前も多く、ここではあまり厳密に分類せず、大まかに分ける程度にとどめた。例えば、なじみのあるテントウムシ・コガネムシ・ハムシなど、それぞれを頁になるべくまとめるようにした。下の写真のハンミョウは5-6種仲間がいるが本種だけが抜きん出て美しく他は登場できないので、代表頁に本種のみで、登場させた。甲虫は宝石のように美しい種が多いが、カラフルな色使いではハンミョウの右に出る種はいないであろう。宝石箱のような、甲虫の世界をお楽しみ下さい。



ハンミョウ

冠着山麓

イタドリハムシ

千曲市羽尾



リュウキュウイチモンジハムシ

西表島



ジンガサハムシ

冠着山麓



セモンジンガサハムシ

冠着山麓





オオトラフコガネ

戸隠興社



スシコガネ

南志賀 山田牧場



マメコガネ

川中島八幡原



ヤツボシツツハムシ

冠着山麓

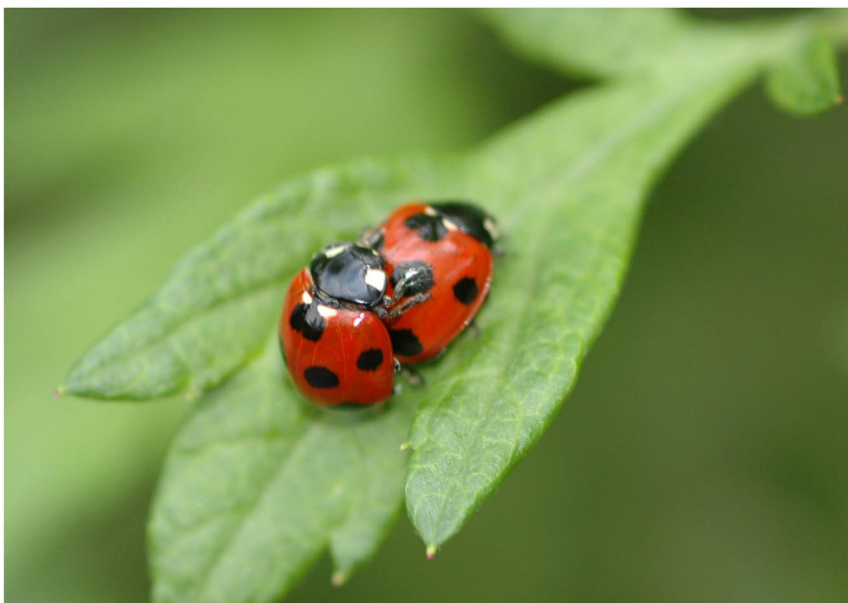


ジュウシホシクビナガハムシ

信州中野

ナナホシテントウ交尾

長野市川中島



カメノコテントウ

千曲市倉科

ナミテントウ

長野市川中島





ベニカミキリ

冠着山麓



キイロトラカミキリ

冠着山麓



ルリボシカミキリ

千曲市倉科



ヒメコブオトシブミ

長野市川中島



ルイスアシナガオトシブミ 揺籃つくり

長野市松代



アオムネスジタマムシ

沖縄八重山



アオカミキリモドキ

長野市川中島

登場でき グループの



アシプトハナアブ



カゲロウの一種



ハサミムシの一種(台湾)



ミツバチ

蝶・甲虫・トンボ・カメムシ
など、大きなグループからの
登場ばかりで、小さなものは
登場のチャンスが少ないので
ここでまとめて、
ハチ・アブ・カゲロウ・シリ
アゲ・ツノトンボ・ハサミム
シ・ヨコバイ・セミ・など、

なかった 虫たち

皆様がふだんあまり関心の持てない本当に小さな世界の仲間達から、一種ずつ登場してもらいました。こんな機会によくみてやってください。

下のセミは体長が12ミリ～17ミリほどの世界最小のセミです。



オオヨコバイ



シリアゲの一種



イワサキクサゼミ (西表島)



キバネツノトンボ

カメムシノ仲間

昆虫界の、綺麗どころの最後のグループの登場になってしまった。
いずれのグループも、美しい色彩、形の者ばかりで甲乙付けがたい。
しかし、改めて、このような編集作業をしてみると、カメムシのグループ
が、最もカラフルで、光沢もあり、形も個性的で、臭い事など全く忘れ
てしまった。

カメムシといえばその悪臭だけが直ぐ話題になってしまうが、数多の
昆虫の中で社会生活を営む、蟻・蜂以外で子どもを護る習性がみら
れるのは、このカメムシの中の数種だけである。

つい、弁護したくなってしまった。



ジュウジナガカメムシ

信州冠着山麓



ナナホシキンカメムシ

西表島



クロジュウジカメムシ

沖縄 本部半島



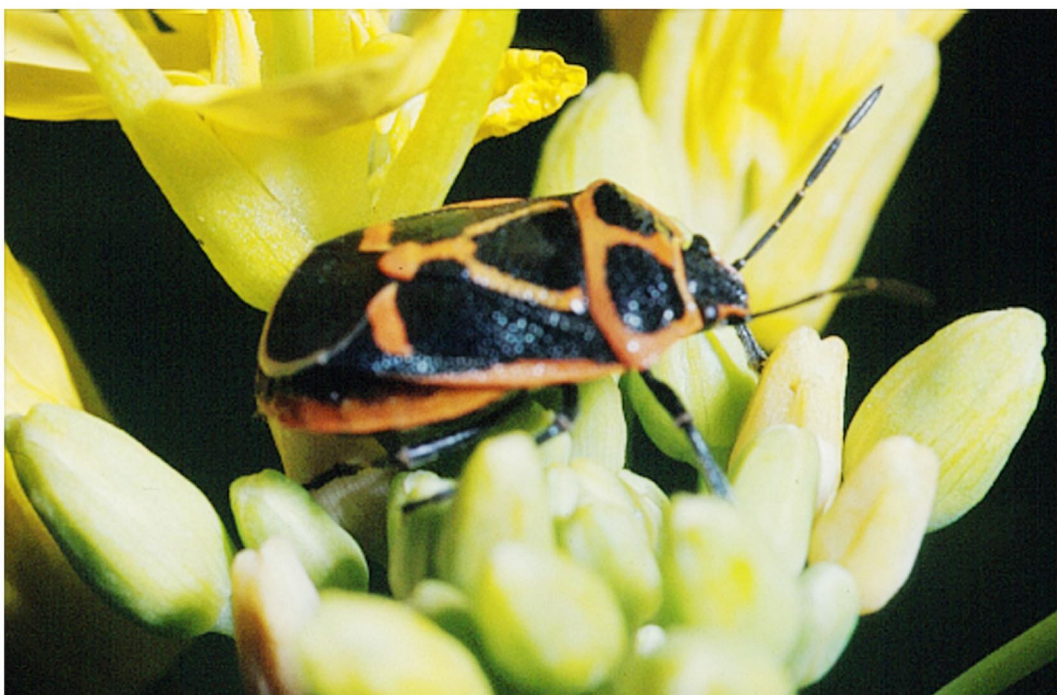
エザキモンキツノカメムシ

長野市川中島



アカシマサンガメ

千曲市羽尾



ナガメ

長野市川中島



チャバネアオカメムシ

長野市川中島



ツノアオカメムシ

冠着山麓



アカスジキンカメムシ

富士見高原



アカホシカメムシ

八重山 竹富島



アカギカメムシ

八重山 西表島